

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 15日

(あて先)

宇都宮市長 佐藤 栄一

提出者

住 所 栃木県宇都宮市元今泉7-31-1
氏 名 住友林業(株) 住宅事業本部 宇都宮支店
支店長 小林 清一郎
電話番号 028-683-0150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	住友林業(株) 住宅事業本部 宇都宮支店
事 業 場 の 所 在 地	栃木県宇都宮市元今泉7-31-1
計 画 期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

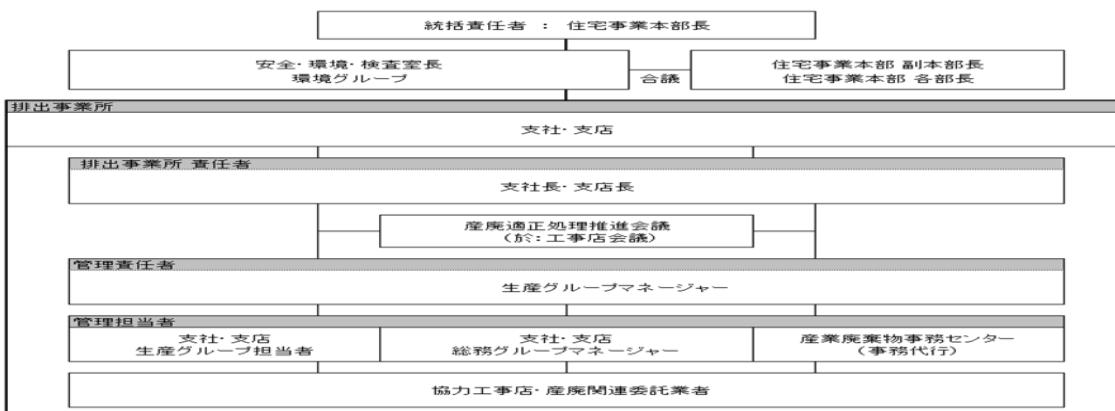
①事 業 の 種 類	D06 (総合工事業)
②事 業 の 規 模	売上高(連結) 2,053,650百万円(2024/12期)
③従 業 員 数	住友林業(株) 6,095名 (2025/5) (宇都宮支店 69名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2参照 (産業廃棄物の一連の処理の工程による)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1 の通り	
	排 出 量	別紙 1 の通り	t
(これまでに実施した取組) 新築工事において 8 種類の分別を徹底し再資源化の促進を図る 解体工事においては分別解体を徹底し再資源化の促進を図る			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1 の通り	
	排 出 量	別紙 1 の通り	t
(今後実施する予定の取組) 同上、産廃の分別を徹底する 同上、分別解体を徹底する			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設系混合廃棄物については、適正に分別することにより削減を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類に関しては、コンクリートがら、ガラス陶磁器くず等適正に分別を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1 の通り	
	全処理委託量	別紙 1 の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙 1 の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙 1 の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙 1 の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙 1 の通り	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	別紙1の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類						合計
排出抑制に関する事項	汚泥(上・下水、建設、その他の廃棄物)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏が一括で含む)	がれき類(コンクリートから、廃アスファルト、ガラス等)、建設混合廃棄物(安定型、管理型)
前年度排出量(実績)	2.40t	7.71t	2.64t	205.28t	7.46t	18.05t	85.72t	760.99t
本年度排出量(計画)	2.16t	6.94t	2.38t	184.75t	6.71t	16.24t	77.15t	684.89t
前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)再生利用に關する事項	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)熱回収の量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら中間処理により減量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)埋立処分に関する事項	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
処理委託量	前年度実績	2.40t	7.71t	2.64t	205.28t	7.46t	18.05t	85.72t
優良認定処理業者への処理委託量	本年度計画(目標)	2.16t	6.94t	2.38t	184.75t	6.71t	16.24t	77.15t
再生活用業者への処理委託量	本年度計画(目標)	2.40t	7.71t	2.64t	205.28t	7.46t	18.05t	85.72t
認定熱回収業者への処理委託量	本年度計画(目標)	2.16t	6.94t	2.38t	184.75t	6.71t	16.24t	77.15t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者への処理委託量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行つた)の処理委託量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。

別紙2

産業廃棄物の一連の処理の工程

